

第 17 回日本血栓止血学会学術標準化委員会(SSC)シンポジウム
SSC Symposium 2023

部会企画

DIC 部会

テーマ：DIC 診療ガイドライン（仮）の構想と進捗状況

座長：関 義信（新潟大学魚沼地域医療教育センター 血液内科）

山川一馬（大阪医科薬科大学 救急医学）

1. 造血器腫瘍：

河野徳明¹⁾、池添隆之²⁾、川杉和夫³⁾、竹迫直樹⁴⁾（¹⁾ 宮崎県立病院 血液内科、²⁾ 福島県立医科大学 血液内科、³⁾ 帝京大学 医療技術学部、⁴⁾ 練馬光が丘病院 血液内科）

2. 固形癌：

関 義信¹⁾、窓岩清治²⁾、内山俊正³⁾（¹⁾ 新潟大学魚沼地域医療教育センター 血液内科、²⁾ 東京都済生会中央病院 臨床検査医学科、³⁾ 高崎総合医療センター 臨床検査科）

3. 感染症（敗血症）：

山川一馬¹⁾、伊藤隆史²⁾、射場敏明³⁾、丸藤 哲⁴⁾（¹⁾ 大阪医科薬科大学 救急医学、²⁾ 熊本大学 生体情報解析学、³⁾ 順天堂大学 救急災害医学、⁴⁾ 札幌東徳洲会病院 救急集中治療センター）

4. 外傷：

早川峰司¹⁾、阪本雄一郎²⁾、久志本成樹³⁾、江口 豊⁴⁾（¹⁾ 北海道大学 救急医学、²⁾ 佐賀大学 救急医学、³⁾ 東北大学 外科病態学講座救急医学分野、⁴⁾ 滋賀医科大学 救急集中治療学）

5. 急性膵炎・急性肝不全：

石倉宏恭¹⁾、真弓俊彦²⁾、田村利尚³⁾、西尾健治⁴⁾（¹⁾ 福岡大学 救命救急医学、²⁾ 中京病院 ICU 診療部、³⁾ 産業医科大学 第一外科、⁴⁾ 奈良県立医科大学 総合診療科）

6. 血管異常：

山田真也¹⁾、古賀 震²⁾、朝倉英策¹⁾（¹⁾ 金沢大学附属病院 血液内科、²⁾ SBS 静岡健康増進センター）

7. 産科：

川崎 薫¹⁾、清川 晶²⁾ (1) 近畿大学 産婦人科、2) 倉敷中央病院 産婦人科)

8. 他の基礎疾患：

内場光浩¹⁾、松本剛史²⁾ (1) 熊本大学 輸血・細胞治療部、2) 三重大学 輸血・細胞治療部)

血栓性素因部会・凝固線溶検査部会合同企画

テーマ：凝固線溶検査標準化の現状と課題

座 長（血栓性素因部会）：根木玲子（国立循環器病研究センター ゲノム医療支援部
遺伝相談室、産婦人科部）

座 長（凝固線溶検査部会）：山崎昌子（千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学）

<血栓性素因部会>

1. イントロダクション

家子正裕（岩手県立中部病院 血液内科・臨床検査科）

2. AT, PS 標準化の詳細と推奨案

内藤澄悦（北海道医療大学病院 臨床検査部）

3. PC 標準化の問題点と凝固制御因子標準化に関わる啓発活動について

家子正裕（岩手県立中部病院 血液内科・臨床検査科）

4. 質疑応答

<凝固線溶検査部会>

1. DOAC 療法における凝固検査の現状と課題

1) DOAC 服用検体の凝固波形解析

藤森祐多（慶應義塾大学病院 臨床検査技術室）

2) DOAC 療法下での出血リスクの評価と確認試験

大村一将（北海道医療大学 歯学部内科学分野）

3) DOAC の凝固検査への影響

松田将門（福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科）

2. 日本検査血液学会との連携と取組み

橋口照人（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学）

凝固系／抗凝固療法部会

テーマ：自己免疫性後天性凝固因子欠乏症、脳梗塞および凝固波形解析ならびに血小板活性化マーカー

座長：一瀬白帝（山形大学）

松本剛史（三重大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

川杉和夫（帝京大学 医療技術学部）

松本智子（天理医療大学医療学部 臨床検査学科）

1. 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症、CWA

1) 自己免疫性出血症治療の「均てん化」研究班の紹介

橋口照人（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学）

2) 自己免疫性凝固第VIII因子欠乏症例における結合抗体の経時的解析

小川孔幸（群馬大学医学部附属病院 生体統御内科）

3) CWAによる自己免疫性後天性凝固異常症の診断

和田英夫（三重県立総合医療センター）

4) CWAの進歩と課題

涌井昌俊（慶應義塾大学医学部 臨床検査医学）

座長：岡田 靖（九州医療センター 臨床研究センター）

長尾毅彦（日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経内科）

上塚芳郎（内藤病院）

2. 脳梗塞・血小板活性化マーカー、CWA

1) CWAによる脳梗塞症例の過凝固状態の診断

掃部俊貴（三重県立総合医療センター 脳神経内科）

2) CLECSTRO研究の紹介

内山真一郎（国際医療福祉大学 臨床医学研究センター）

3) sCLEC-2の基礎と新展開

井上克枝（山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床検査医学講座）

血友病部会

テーマ：後天性血友病治療の再考

座長：西田恭治（大阪医療センター 血友病科／感染症内科）

酒井道生（宗像水光会総合病院 小児科）

1. 後天性血友病 A の治療アップデート
備後真登（東京医科大学 臨床検査医学分野）
2. エミシズマブの後天性血友病 A への使用に関する文献レビュー
野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）
3. 後天性血友病 A におけるエミシズマブの臨床試験データ
鈴木伸明（名古屋大学 輸血部）
4. 免疫抑制療法が困難な症例におけるエミシズマブの使用
日笠 聡（兵庫医科大学 血液内科）
5. 臨床応用における課題
酒井道生（宗像水光会総合病院 小児科）
6. バイクロットによる定期補充療法を選択する機会はあるのか？
山崎尚也（広島大学 輸血部）

抗リン脂質抗体部会

テーマ：抗リン脂質抗体検査の現状と課題

座長：野島順三（山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学）

奥 健志（北里大学医学部 膠原病・感染内科学）

1. LA 検査における検査前処理の再評価と DOAC 投与患者検体への対応
山崎 哲¹⁾、鈴木典子¹⁾、大谷政樹¹⁾、内藤澄悦²⁾、徳永尚樹³⁾、冢子正裕⁴⁾
(¹⁾ 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部、²⁾ 北海道医療大学 臨床検査部、³⁾ 社会医療法人川島会川島病院 検査室、⁴⁾ 岩手県立中部病院 血液内科／臨床検査科)

2. 日本における新規抗リン脂質抗体価測定試薬の有用性の検討
本木由香里、金重里沙、野島順三（山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学）
3. SARS-COV2 mRNA ワクチン接種後の抗リン脂質抗体価の変動
藤枝雄一郎、安田充孝、アメングアル・オルガ、渥美達也（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）
4. ホスファチジルセリン依存性抗プロトロンビン抗体の「これまで」と「これから」
藤枝雄一郎（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

VWD/TMA 部会

テーマ：von Willebrand 病の診断における現状と課題、その解決を目指して

座長：八木秀男（奈良県総合医療センター 血液腫瘍内科）

野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）

1. 本邦の VWD 診療のガイドラインのオーバービュー（診断ポイントを含む）
日笠 聡（兵庫医科大学 血液内科）
2. VWD 患者の出血症状の観点から
長尾 梓（荻窪病院 血液凝固科）
3. VWF マルチマー解析と遺伝子検査の観点から
古川晶子（奈良県立医科大学 小児科）
4. Easy-to-use な臨床血液検査による VWD スクリーニングの観点から
荻原建一（奈良県立医科大学 小児科）

HIT 部会

テーマ：HIT 診療を変える HIT の新規診断法

座長：伊藤隆史（熊本大学大学院生命科学研究部 生体情報解析学講座）

1. ヘパリン起因性血小板減少症の診断、治療における、血小板活性化能を保持する HIT 抗体検出のための機能的測定法の重要性
宮田茂樹（日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所）
2. 新規免疫学的測定法の利用と本邦における機能的測定法の現状
安本篤史（北海道大学病院 検査・輸血部）
3. 血小板不要の新しい HIT 抗体検出法
丸山慶子、宮田茂樹、小亀浩市（国立循環器病研究センター 分子病態部）
4. 総合討論

静脈血栓症／肺塞栓症部会

テーマ：欧米ガイドラインと比較した日本国内の VTE 予防の状況と相違点

座長：保田知生（星ヶ丘医療センター 循環器外科）

杉村 基（浜松医科大学 産婦人科家庭医療学講座）

1. 本邦における静脈血栓塞栓症予防の現状 —欧米のガイドラインと比較して—
山本尚人（浜松医療センター 血管外科）
2. 産科領域における深部静脈血栓・肺塞栓症の予防 —欧米と日本のガイドラインの比較
杉村 基（浜松医科大学 産婦人科家庭医療学講座）
3. 婦人科がんにおける静脈血栓塞栓症予防の現状と海外との相違点について
川口龍二（奈良県立医科大学 産婦人科学講座）
4. 整形外科領域の VTE 予防 特に骨折症例における欧米との相違と課題
阿部靖之（熊本中央病院 整形外科）
5. ガイドラインからみる VTE 予防の欧米との違い
荻原義人（三重大学 循環器・腎臓内科）

血小板部会

テーマ：「血小板関連疾患の診断、治療」及び「血小板関連製剤による治療」の標準化に向けて

座長：山之内 純（愛媛大学 輸血・細胞治療部）

横山健次（東海大学医学部附属八王子病院 血液腫瘍内科）

1. 「血小板関連疾患の診断、治療」の標準化に向けて

1) 新たな成人 ITP 診断基準

柏木浩和（大阪大学 血液・腫瘍内科学）

2) 先天性血小板減少症・異常症の網羅的診断法とレジストリの構築

内山 徹（国立成育医療研究センター 成育遺伝研究部 疾患遺伝子構造研究室）

2. 「血小板関連製剤による治療」の標準化に向けて

1) 運動器疾患に対する多血小板血漿（PRP）療法

齋田良知（順天堂大学 整形外科・スポーツ診療科スポーツ医学・再生医療講座）

2) PRP の規格化を目指す取り組み

松原由美子（慶應義塾大学 臨床研究推進センター）

3) HLA 適合血小板の使用ガイドライン

羽藤高明（愛媛県赤十字血液センター）

血栓溶解部会

テーマ：線溶調節機構の破綻と治療標的としての可能性

座長：竹下享典（埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部）

長尾毅彦（日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経内科）

1. COVID-19 の病態における線溶異常

長屋聡美、森下英理子（金沢大学 医薬保健研究域保健学系）

2. 医師主導型臨床試験 T-FLAVOR の現状報告

平野照之（杏林大学 脳卒中医学）

3. 周術期のトラネキサム酸使用の功罪

内場光浩（熊本大学 輸血・細胞治療部）

4. 造血系における PAI-1 の役割

安藤 潔 (東海大学医学部 血液・腫瘍内科)